

授業科目	国内旅行実務（A クラス）					単位	2	
履 修	選択	関連資格				ナンバリング	TO21102J	
開講年次	1 年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-4			
担当教員	宮原 英利							
授業概要	毎年秋に実施される国家試験「旅行業務取扱管理者（国内・総合）」に対応する。「国内」試験 3 科目「旅行業法」「約款」「国内旅行実務」のうち、後者1科目を取り上げる。中心は、国内観光資源とJR や宿泊の運賃・料金である。前者2科目は、「観光関連法規」の授業で対応するので、「国内」受験予定者は両授業を履修することが望ましい。「総合」はさらに「海外旅行実務」科目が課されるが、これは「海外旅行実務」（2 年次）の授業で対応する。							
学生が達成すべき行動目標	1. 地理については、担当教員が授業時に簡単な解説を行う。受講生は自宅で該当箇所を暗記する。 2. 旅行実務については、担当教員が授業時に解説をして、その後に受講生は過去問を解く。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	70	0	0	0	30	100	
知識・理解（DP1-1）								
知識・理解（DP1-2）		70					70	
知識・理解（DP1-3）								
知識・理解（DP1-4）						30	30	
思考・判断（DP2-1）								
思考・判断（DP2-2）								
関心・意欲（DP3-1）								
関心・意欲（DP3-2）								
態度（DP4-1）								
態度（DP4-2）								
態度（DP4-3）								
技能・表現（DP5-1）								
技能・表現（DP5-2）								
技能・表現（DP5-3）								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
国家試験 3 科目のうち、「国内旅行実務」の合格点（60点）が取れるようになる。				1. 一般生活で通用するレベルの国内観光資源の知識が身につき、この分野での報道や話題を理解できる。 2. JR、国内航空、宿泊など一般生活でも役だつ運賃・料金のルールが身につき、人に説明できる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション ・国家試験概要の説明			講義		該当部分の復習 宿題(国内観光資源)		30

	・授業の進め方の説明			
2	JR1（運賃計算の基本）	講義	該当部分の復習	90
3	国内観光資源1（北海道、東北）、JR2（運賃計算2）	小テスト 講義	該当部分の復習 宿題（国内観光資源）	90
4	JR3（運賃計算3）	小テスト 講義	該当部分の復習	90
5	国内観光資源2（東北、関東）、JR4（運賃計算4）	小テスト 講義	該当部分の復習 宿題（国内観光資源）	90
6	JR5（運賃まとめ）	小テスト 講義	該当部分の復習	90
7	国内観光資源3（関東、北陸）、JR6（料金の基本）	小テスト 講義	該当部分の復習 宿題（国内観光資源）	90
8	JR7（料金2）	小テスト 講義	該当部分の復習	90
9	国内観光資源4（東海）、JR8（料金3）	小テスト 講義	該当部分の復習 宿題（国内観光資源）	90
10	JR9（料金まとめ）	小テスト 講義	該当部分の復習	90
11	国内観光資源5（関西）、JR10（団体割引）	小テスト 講義	該当部分の復習 宿題（国内観光資源）	90
12	JR11（乗車券）	小テスト 講義	該当部分の復習	90
13	国内観光資源6（中四国）、国内航空運賃	小テスト 講義	該当部分の復習 宿題（国内観光資源）	90
14	宿泊、貸切バス、フェリーの各運賃、料金	小テスト 講義	該当部分の復習	90
15	国内観光資源7（九州、沖縄）、運賃・料金まとめ	小テスト 講義	該当部分の復習	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	地理については、単純に暗記する項目が多い。国家試験だけあって忍耐力が必要である。一方、運賃計算などで暗記するのは、少しのルールと例外規定だけである。問題文を冷静に理解する能力と、的確な判断力が要求される。			
テキスト	「国内旅行業務取扱管理者過去問題集」最新版			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	・高校までに使用した日本地図帳			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	・国内地理は授業内では取り扱わないため、自学が必要となる。高校までの地理とは違って、観光に関する地理なので、国内の観光地については日頃から意識していると自然と覚えることも多い。			
達成度評価に関するコメント	スマホは、しまっておく。			